



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 藤倉化成株式会社

上場取引所 東

コード番号 4620 URL <http://www.fkkasei.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 加藤 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 下田 善三

TEL 03-3436-1101

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

平成29年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	28,919	8.1	1,238	23.1	1,364	19.1	1,024	9.6
29年3月期第2四半期	31,452	15.0	1,610	13.9	1,687	19.0	1,133	54.0

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,076百万円 (%) 29年3月期第2四半期 628百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	32.18	
29年3月期第2四半期	35.20	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	50,671	34,137	62.0
29年3月期	50,018	33,494	61.1

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 31,438百万円 29年3月期 30,536百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		7.00		9.00	16.00
30年3月期		8.00			
30年3月期(予想)				8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,000	7.6	2,800	9.0	3,000	10.4	1,900	20.8	59.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	32,716,878 株	29年3月期	32,716,878 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	887,711 株	29年3月期	887,711 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	31,829,167 株	29年3月期2Q	32,179,124 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境に改善が見られ、緩やかな回復基調を示したものの、世界経済の不確実性や金融資本市場の変動が懸念されるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの関連する業界におきましては、自動車産業においては、国内は、普通車の新車効果や、輸出の増加により、生産台数は前年同期に比べ増加いたしました。海外では、米国が減産のなか、中国・アジア・欧州の需要増により、世界の自動車生産台数は前年同期に比べ増加いたしました。住宅産業につきましては、雇用、所得の改善に加え、低金利ローンや政府による住宅取得支援策などにより住宅取得に対する関心が高まる傾向が見られました。

このような環境の下、当第2四半期連結累計期間の売上高は289億19百万円（前年同期比8.1%減）となり、営業利益は12億38百万円（同23.1%減）、経常利益は13億64百万円（同19.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億24百万円（同9.6%減）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

① コーティング

プラスチック用コーティング材（『レクラック』・『フジハード』など）を取扱うコーティング部門におきましては、国内市場は前年並みに推移いたしました。海外では、欧米市場をはじめとして好調に推移いたしました。

この結果、売上高は122億73百万円（同1.8%増）となり、営業利益は10億49百万円（同5.4%減）となりました。

② 塗料

建築用塗料を取扱う塗料部門におきましては、新築向け市場の塗料販売が振るわず、前年同期と比べ売上高は横這いとなりました。営業利益は増加いたしました。

この結果、売上高は63億90百万円（同0.2%増）となり、営業利益は4億2百万円（同19.8%増）となりました。

③ 電子材料

導電性ペースト材（『ドータイト』）などを取扱う電子材料部門におきましては、売上高はほぼ横ばいとなりました。新製品の寄与もあり営業利益は増加いたしました。

この結果、売上高は15億14百万円（同0.1%減）となり、営業利益は58百万円（同28.0%増）となりました。

④ 化成品

『アクリベース』の商品名で販売する樹脂ベースやトナー用レジン、メディカル材料などを取扱う化成品部門におきましては、粘着剤の売上が伸長するなど好調に推移いたしました。

この結果、売上高は20億29百万円（同13.9%増）となり、営業利益は1億53百万円（同88.3%増）となりました。

⑤ 合成樹脂

子会社藤光樹脂株式会社などが取扱うアクリル樹脂の原材料・加工品の販売におきましては、藤光樹脂株式会社において第1四半期に発生したA T T株式会社における架空取引による貸倒引当金繰入額計上により、大幅な営業損失となりました。

この結果、売上高は67億65百万円（同30.8%減）となり、営業損失は4億24百万円（前年同四半期は営業利益38百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産・負債・純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ6億53百万円（前連結会計年度末比1.3%）増加し、506億71百万円となりました。

① 流動資産

たな卸資産の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ1億99百万円（同0.7%）増加し、300億92百万円となりました。

② 固定資産

投資有価証券の時価が上昇したことなどの結果、前連結会計年度末と比べ4億54百万円（同2.3%）増加し、205億78百万円となりました。

③ 流動負債

仕入債務の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ5億3百万円（同4.1%）増加し、129億11百万円となりました。

④ 固定負債

社債の償還による減少などの結果、前連結会計年度末と比べ4億94百万円（同12.0%）減少し、36億23百万円となりました。

⑤ 純資産

利益剰余金が増加したことなどの結果、前連結会計年度末と比べ6億43百万円（同1.9%）増加し、341億37百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の61.1%から62.0%へと0.9ポイント増加となり、1株当たり純資産額は、前連結会計年度末より28円33銭増加し、987円70銭となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ5億95百万円減少し、100億23百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払が5億37百万円であったものの、税金等調整前四半期純利益13億29百万円や減価償却費7億66百万円などにより、16億5百万円の収入（前年同四半期連結累計期間は6億40百万円の収入）となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出6億46百万円、無形固定資産の取得による支出77百万円などにより、13億29百万円の支出（前年同四半期連結累計期間は9億20百万円の支出）となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金により2億86百万円の支出、社債の償還により2億50百万円の支出などがあったため、7億64百万円の支出（前年同四半期連結累計期間は7億19百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期の連結業績予想は、平成29年8月9日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,988,054	10,966,501
受取手形及び売掛金	12,358,723	12,024,849
商品及び製品	3,419,915	3,588,795
仕掛品	55,603	78,653
原材料及び貯蔵品	1,923,779	2,101,055
繰延税金資産	405,077	394,142
その他	864,433	1,051,441
貸倒引当金	△121,837	△113,007
流動資産合計	29,893,747	30,092,429
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,558,708	11,136,418
減価償却累計額	△5,738,204	△5,895,298
建物及び構築物 (純額)	4,820,504	5,241,120
機械装置及び運搬具	12,902,210	13,367,281
減価償却累計額	△10,515,335	△10,735,999
機械装置及び運搬具 (純額)	2,386,875	2,631,282
工具、器具及び備品	4,128,513	4,225,005
減価償却累計額	△3,513,619	△3,567,359
工具、器具及び備品 (純額)	614,894	657,646
土地	4,357,770	4,585,965
リース資産	301,906	271,297
減価償却累計額	△166,383	△144,900
リース資産 (純額)	135,523	126,397
建設仮勘定	880,028	78,861
有形固定資産合計	13,195,594	13,321,271
無形固定資産		
ソフトウェア	440,719	417,962
のれん	10,629	-
その他	1,237,719	1,160,237
無形固定資産合計	1,689,067	1,578,199
投資その他の資産		
投資有価証券	2,651,480	3,121,863
長期貸付金	30,010	27,280
繰延税金資産	228,770	145,987
その他	2,338,832	2,821,307
貸倒引当金	△9,779	△437,522
投資その他の資産合計	5,239,313	5,678,915
固定資産合計	20,123,974	20,578,385
資産合計	50,017,721	50,670,814

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,280,834	6,938,214
短期借入金	2,656,170	2,510,776
1年内償還予定の社債	500,000	500,000
未払法人税等	476,624	238,325
未払費用	916,166	922,939
賞与引当金	657,146	625,531
リース債務	54,943	50,905
その他	865,358	1,123,848
流動負債合計	12,407,241	12,910,538
固定負債		
社債	500,000	250,000
繰延税金負債	110,749	107,459
退職給付に係る負債	2,858,630	2,763,274
長期未払金	282,571	155,604
リース債務	99,715	81,749
その他	265,063	265,088
固定負債合計	4,116,728	3,623,174
負債合計	16,523,969	16,533,712
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,352,121	5,352,121
資本剰余金	5,040,199	5,040,199
利益剰余金	19,514,355	20,252,197
自己株式	△524,974	△524,974
株主資本合計	29,381,701	30,119,543
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	600,560	918,092
為替換算調整勘定	1,287,469	1,112,916
退職給付に係る調整累計額	△733,747	△712,856
その他の包括利益累計額合計	1,154,282	1,318,152
非支配株主持分	2,957,769	2,699,407
純資産合計	33,493,752	34,137,102
負債純資産合計	50,017,721	50,670,814

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	31,452,243	28,919,472
売上原価	23,023,857	20,370,935
売上総利益	8,428,386	8,548,537
販売費及び一般管理費	6,818,523	7,310,828
営業利益	1,609,863	1,237,709
営業外収益		
受取利息	10,959	23,846
受取配当金	42,402	52,574
固定資産賃貸料	32,787	36,077
償却債権取立益	127,581	-
その他	63,681	69,477
営業外収益合計	277,410	181,974
営業外費用		
支払利息	25,546	19,257
為替差損	146,118	14,520
その他	28,712	21,434
営業外費用合計	200,376	55,211
経常利益	1,686,897	1,364,472
特別損失		
退職給付制度終了損	-	35,217
特別損失合計	-	35,217
税金等調整前四半期純利益	1,686,897	1,329,255
法人税、住民税及び事業税	494,607	459,815
法人税等調整額	△38,316	△48,961
法人税等合計	456,291	410,854
四半期純利益	1,230,606	918,401
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	97,756	△105,904
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,132,850	1,024,305

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	1,230,606	918,401
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	76,369	323,235
為替換算調整勘定	△2,099,247	△208,735
退職給付に係る調整額	155,544	20,891
持分法適用会社に対する持分相当額	8,943	22,547
その他の包括利益合計	△1,858,391	157,938
四半期包括利益	△627,785	1,076,339
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△448,239	1,188,175
非支配株主に係る四半期包括利益	△179,546	△111,836

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,686,897	1,329,255
減価償却費	767,693	765,554
のれん償却額	17,995	10,427
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	68,537	△47,650
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△53,073	△27,826
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,675	420,695
受取利息及び受取配当金	△53,361	△76,420
支払利息	25,546	19,257
売上債権の増減額 (△は増加)	△588,577	260,251
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△126,979	△426,463
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	226,926	△331,140
仕入債務の増減額 (△は減少)	△648,670	706,350
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△3,222	30,810
その他	△263,547	△549,015
小計	1,053,490	2,084,085
利息及び配当金の受取額	53,361	72,768
利息の支払額	△26,821	△20,431
法人税等の支払額	△453,728	△536,653
法人税等の還付額	13,427	5,250
営業活動によるキャッシュ・フロー	639,729	1,605,019
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△549,356	△934,159
定期預金の払戻による収入	565,663	362,500
有形固定資産の取得による支出	△773,491	△645,886
無形固定資産の取得による支出	△29,681	△77,454
投資有価証券の取得による支出	△3,298	△3,746
その他	△130,066	△30,144
投資活動によるキャッシュ・フロー	△920,229	△1,328,889
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	314,093	△152,191
社債の償還による支出	△250,000	△250,000
リース債務の返済による支出	△30,018	△29,977
自己株式の取得による支出	△499,982	-
配当金の支払額	△228,751	△286,463
非支配株主への配当金の支払額	△23,967	△45,266
財務活動によるキャッシュ・フロー	△718,625	△763,897
現金及び現金同等物に係る換算差額	△495,197	△107,407
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,494,322	△595,174
現金及び現金同等物の期首残高	10,922,539	10,617,954
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	68,586	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,496,803	10,022,780

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コーティング	塗料	電子材料	化成品	合成樹脂	計
売上高						
外部顧客への売上高	12,050,562	6,374,306	1,508,934	1,780,466	9,737,975	31,452,243
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	6,563	116	33,084	39,763
計	12,050,562	6,374,306	1,515,497	1,780,582	9,771,059	31,492,006
セグメント利益	1,109,433	335,469	45,357	81,323	38,264	1,609,846

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,609,846
セグメント間取引消去	17
四半期連結損益計算書の営業利益	1,609,863

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コーティング	塗料	電子材料	化成品	合成樹脂	計
売上高						
外部顧客への売上高	12,272,806	6,389,864	1,501,658	2,028,641	6,726,503	28,919,472
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	66	12,294	226	38,445	51,031
計	12,272,806	6,389,930	1,513,952	2,028,867	6,764,948	28,970,503
セグメント利益又は損失(△)	1,049,192	401,860	58,075	153,142	△424,414	1,237,855

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,237,855
セグメント間取引消去	△146
四半期連結損益計算書の営業利益	1,237,709

(重要な後発事象)

該当事項はありません。